# さといも防除指針

#### JA 周桑園芸生産指導課

### 〇種子消毒

防除時期	対象病害虫	農薬名	系統	散布農度 使用量	収穫前日数 使用回数	使用方法及び 注意事項
植付前	疫病 黒斑病	ベンレートT水和剤 20	有機硫黄 EBI	・20 倍 ・種いも重量の 0.4~0.5%	植付前/1 回	・植付前 20 倍で1分間浸漬 ・種芋重量の 0.4~0.5%種芋粉衣 (紛衣は黒点病のみ登録)

### 〇病害虫防除体系

## 200g/10a	防除時期	対象病害虫	農薬名	系統	散布農度 使用量	収穫前日数/ 使用回数	使用上の注意点
アプラムシ類	植付前				20∼30 kg∕10a		
3月上旬     アブラムシ類     又は     スは     アドマイヤー1粒剤     ネオニコチノイド     4kg/10a     植付時/10     植清土壌混和       5月下~6月上旬     ハダニ     マイトコーネフロアブル     ピフェナゼート     1,000 倍     3 日/1回     第日/1回     株務前の予防散布       6月中~下旬     疫病     ダイナモ顆粒水和剤     ジーファイン水和剤     鎖     1,000 倍     21 日前/3回     発病前の予防散布       7月中旬     グ病     グーフィイン水和剤     鎖     1,000 倍     21 日前/3回     発生時に湿用       7月下旬     疫病     グーフアブル     入トロビルリン     2,000 倍     21 日前/3回     発生時に湿用       7月下旬     疫病     グーフィン水和剤     スルホンアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミトウ グレーシア乳剤     インオモリカン アミスター20フロアブルを使用する。ただし、少条条件および(場下ススター20 フロアブルを使用する。ただし、少条条件および(場下をスター20 フロアブルを使用する。アスター20 フロアブルを使用する。ただし、少発条件 はなび(より下へ7 月中旬)の防除時に、アスター20 フロアブルを使用するが(ア 月下旬)の防除時に、アスター20 フロアブルン水和剤を使用する。クスインスター20 フロアブルと使用するが(ア 月下旬)の防除 特にアスター20 フロアブルを使用する。クスタ条条件の場合は『アミスター20 フロアブルを使用するが(ア 月下旬)の防除 特にアスター20 フロアブルを使用した場合は連用を避ける。クストロビルリン 2,000 倍     イ日/3回 発生時に混用       8月中旬     疫病     グーフィンメストロビルリン 2,000 倍     イ日/3回 200 倍     グースインとのの強力が、と使用がとしているのものでは、アインとのの強力が、と呼吸がといいのでは、アインとのの強力を使用がといいのでは、アインとのの強力を使用のなるの強力を使用がある。アインとのの強力を使用のなるの強		コガネムシ類幼虫					
5月下~6 月上旬     バダニ 月上旬     アドマイヤー1粒剤     ネオニコチノイド     4kg/10a     植付時/1回     植溝土塩混和       6月中~ 下旬     マイトコーネフロアブル 下旬     マイトコーネフロアブル 変病     ビフェナゼート スレホンアミド シアノアセトアミド フノアセトアミド フノアセトアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミト シアノアセトアミド シアノアセトアミト シアノアセトアミド シアノアセトアミド カノルネルカ剤     2,000 倍 31 日前/3 回 31 日前/3 回 32 日前/3 日前/3 日前/3 回 32 日前/3 回 32 日前/3 日前/3 日前/3 日前/3 日前/3 日前/3 日前/3 日前/3			アクタラ粒剤5	ネオニコチノイド	6kg/10a	植付前/1 回	作条混和
5月下令6 月上旬     ハダニ 月上旬     マイトコーネフロブル     ビフェナゼート     1,000 倍     3 日/1 回       6月中令下旬     疫病     スルコゼブ水和剤     ジチオカーバント     500 倍     7 日前/2 回     発病前の予防散布       6月下令7 月中旬     疫病     ダイナモ顆粒水和剤 バダニ     スルホンアミド シフノアセトフミト シフノアセトフミト シフノアセトフミト シフノアセトフミト シフノアセトフミト シフノアセトフミト ジアフタークシアフト フレーシアスル和剤     2,000 倍     21 日前/3 回     ※隆西が後、場合は『ダイナモ顆粒水 和削を使用する。ただし、少条条件お おび[6月下~7] 中旬]の防除時に、『ダイナモ顆粒水和剤」を使用した場合 は適用を避け、『アミスター20 フロアブル ル)を使用する。 アンファイン水和剤     2,000 倍     21 日前/3 回     ※基本的にジーファイン水和剤を使用 する。 多発条件の場合は『アミスター20 フロアブルと使用するが「7 月下旬」の防除 場合に適用を避ける。 発生時に適用 ※ジーファイン水和剤を使用 する。 アミスター20 フロアブルとを使用した 場合は適用を避ける。 発生時に適用 ※ジーファインをの混用不可       8月中旬     疫病     ジーファイン水和剤 ダイナモ顆粒水和剤 アミスター20 フロアブル インスキンヨトウ     知り、1,000 倍     14 日/3 回     第に時に適用 ※ジーファインとの混用不可       8月中旬     疫病     ジーファイン水和剤 ダイナモ顆粒水和剤 アミスター20 フロアブル インスキンサファド シアンドト フィンアンドン・フェト フィンス・アンド アメカルバネラ水和剤 アンオンアンドライン水和剤 のでアメラケーカルの デオカーバルート フィンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・ア	3 月上旬	アブラムシ類	e ree				
月上旬     パタニ     マイトコーズフロアカル ペンコゼブ水和剤     ピフェナゼート ワスは     1,000 倍     3 日/1回       6月中~下旬     接病     アンフィン水和剤     毎     1,000 倍     前日/一     発病前の予防散布       6月下~7月中旬     接病     ダイナモ顆粒水和剤 アニスター20フロアブル     スルホンアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミド シアファイン水和剤     2,000 倍     21 日前/3 回     発生時に混用 ・ ダイナモ顆粒水和剤がを使用した場合 は連用を避け、『アミスター20 フロアブル ルがを使用する。 ・ 大きなのにジーファイン水和剤を使用 ・ 大きなのにジーファイン水和剤を使用 ・ 大きなのにジーファイン水和剤を使用 ・ 大きなのにジーファイン水和剤を使用した場合 は連用を避ける。 ・ 発生時に混用 ・ 大きなのにジーファイン水和剤を使用した場合 は連用を避ける。 ・ 発生時に混用 ・ 大きなのにジーファインル水和剤を使用した場合 は連用を避ける。 ・ 発生時に混用 ・ ボーマシーファインとの混用不可 ・ デミスター20 フロアブルを使用した ・ 場合は連用を避ける。 ・ 安等にに混用 ・ メーフィインとの混用不可 ・ シアミド ・ フィインとの混用不可 ・ シアミト ・ フィーシンコアブル ストロビルリン 2,000 倍     14 日/3 回     特にアミスター20 コロアブルを使用した ・ 場合は連用を避ける。 ・ 大きなのにご用下 ・ ジーファインとの混用不可 ・ ・ シアミト ・ フィーシンの混用不可 ・ ・ フィーシンコアブル ストロビルリン ・ フィーシンコアブル ストロビルリン ・ フは ・ アミスター20 コロアブル ・ フォナル・バート ・ シテオカー・バート ・ シテオカー・バート ・ シテオカー・バート ・ フは ・ アンス・フィン・水和剤はマンゼブ剤の 使用回数に注意 ・ マーフィン・水和剤はマンゼブ剤の 使用回数に注意 ・ マーファフィン・水和剤 ・ ジーファイン・水和剤 ・ ジーファイン・水和剤 ・ ジーファイン・水和剤 ・ ・ マーファイン・水和剤 ・ ・ マーフィン・水和剤 ・ ・ マーフィン・水和剤 ・ ・ マーファイン・水和剤 ・ ・ マーフィン・水和剤 ・ ・ マーフィン・水和剤 ・ ・ マーファイン・水和剤 ・ ・ マーファイン・水和剤 ・ ・ マーファイン・水和剤 ・ ・ マーファイン・水和剤 ・ ・ マーマーファイン・水和剤 ・ ・ マーマーマーファイン・水和剤 ・ ・ マーフィン・水和剤 ・ ・ マーマーマー・・ マーマーマーマー・・ マーマーマー・・ マーマーマー・・ マーマーマー・・ マーマーマー・・ マーマー・ マー・			アドマイヤー1粒剤	ネオニコチノイド	4kg/10a	植付時/1回	植溝土壌混和
6月円~ 下旬     疫病     又は ジーファイン水和剤     1,000 倍     前日/一     発病前の予防枚布       6月下~7 月中旬     夜病     ダイナモ顆粒水和剤 ソンマイトフロアブル     スルル・ンアミド シア/アセトフミド シア/アセトフミド シア/アセトフミド シア/アセトフミド シア/アセトフミド シア/アセトフミド シア/アセトフミド シア/アセトフミド シア/アセトフミド シア/アセトフミド シア/アセトフミド シア/アセトフミド シア/アセトフミト     2,000 倍     21 日前/3 回 発生時に混用     発酵のが表で調査が表している発条件お 本で16 月下~7 月中旬)の防除時に、 ドダイナモ顆粒水和剤 メントン・ストロビルリン     2,000 倍     21 日前/3 回 ・ 1,000 倍     対土 日前/3 回 ・ 1,000 倍     第日/2 回 ・ 第日/2 回 ・ 第日/2 回 ・ 第三人は フルルを使用する。ただし、少発条件お よび16 月下~7 月中旬)の防除時に、 ドダイナモ顆粒水和剤     ※基本的にジーファイン水和剤を使用 する。 ・ 2,000 倍     ※基本的にジーフィイン水和剤を使用 する。 ・ 7ルルを使用するが17 月下旬10 防除 時にアミスター20 フロア フルルを使用しるが17 月下旬10 防除 時にアミスター20 フロア フルルを使用した 場合は連用を避ける。 発生時に選用 ※ジーファインとの混用不可 ・ ジーファインとの混用不可 ・ ジーファインとの混用不可 ・ ジアノアセトラミド シアノアセトラミド シアノアセトラミド シアノアセトラミド シアノアセトラミド シアノアセトラミド シアメアセトラミド シアノアセトラミド シアノアセトラミド シアノアセトラミト シアメアセトラミト シアメアセトラミト シアメアセトラミト シアメアセトラミト シアメアセトラミト シアメアセトラミト シアメトル・ シテオカ・バート シテオカ・バート シテオカ・バート シテオカ・バート シテオカ・バート シテオカ・バート シテオカ・バート シテオカ・バート シテオカ・バート シテオカ・バート シテオカ・バート シテオカ・バート シテオカ・バート シテオカ・バート シテオカ・バート シアメカ・バート シアメカ・バート シアメカ・バート シアメカ・バート シアメカ・バート シアメカ・バー・ シアメカ・バート ・ 第100 倍 ・ 第100 倍 ・ 第100 倍 ・ 第100 円 ・ 第100 倍 ・ 第100 円 ・ 第100 倍 ・ 第100 円 ・ 7 日前 回 ・ 7 日前 回 ・ 7 日前 回 ・ 7 日前 回 ・ 7 日が 回		ハダニ		ビフェナゼート		3日/1回	
下旬   接続   ジーファイン水和剤   銅   1,000 倍   前日/一   接換   方に   カリー   接換   方に   カリー   大阪   野田   大阪   野田   大阪   大阪   カリー   大阪   サンマイトフロアブル   METI   1,000 倍   21 日   21 回   発生時に混用   大阪   大阪   大阪   大阪   大阪   大阪   大阪   大	6 В ф ~		ペンコゼブ水和剤	ジチオカーバメート	500 倍	7 日前/2 回	発病前の予防散布
6月下~7 月中旬		疫病		又は			
6月トー/ 月中旬     投病     タイナモ顆粒水和剤 サンマイトフロアブル     シア/アセトアミド METI     2.000 倍     21日/2回     発生時に混用 栄障雨が続く場合は『ダイナモ顆粒水 和剤」を使用する。ただし、少発条件および[6月下~7月中旬]の防除時に、『ダイナモ顆粒水和剤」を使用した場合は連用を避け、『アミスター20フロアブル』を使用する。 アノルボンアミド シアノアセトアミド シアノアセトアミド     2.000 倍     21日前/3回     ※基本的にジーファイン水和剤を使用した場合は連用を避け、『アミスター20 フロアブル』を使用する。 ・ タ発条件の場合は『アミスター20 フロアブル』を使用する。 ・ タ発条件の場合は『アミスター20 フロアブル』を使用するが「7月下旬]の防除時にアミスター20 フロアブル」を使用するが「7月下旬]の防除時にアミスター20 フロアブルを使用するが「7月下旬]の防除時にアミスター20 フロアブルを使用するが「7月下旬]の防除時にアミスター20 フロアブルを使用した場合は『アミスター20 フロアブルを使用した場合は『アミスター20 フロアブルを使用した場合は『アミスター20 フロアブルを使用した場合は『アミスター20 フロアブルを使用した場合は『アミスター20 フロアブルを使用した場合は連用を避ける。	I. El		ジーファイン水和剤	銅	1,000 倍	前日/一	
7月下旬     万ジマイトフロアブル     Aトロビルリン     2,000 倍     14日/3回     ※性時に続用     ※性時が続く場合は『ダイナモ顆粒水和剤を使用する。ただし、少発条件および[6月下~7月中旬]の防除時に、『ダイナモ顆粒水和剤」を使用した場合は近(6月下~7月中旬]の防除時に、『ダイナモ顆粒水和剤」を使用した場合は上でリートでリードを使用する。     スルホンアミド・シア/アセトアミド・シア/アセトアミド・シア/アセトアミド・シア/アセトアミド・シア/アセトアミド・フルルを使用する。     は連用を避け、『アミスター20 フロアブルルを使用する。     大型は 「ダイナモ顆粒水和剤」を使用する。     ※基本的にジーファイン水和剤を使用する。     多発条件の場合は『アミスター20 フロアブルルを使用する。     多発条件の場合は『アミスター20 フロアブルルを使用する。     タストロビルリン フロアブルを使用するが【7月下旬】の防除時に下ミスター20 フロアブルルを使用するが【7月下旬】の防除時にアミスター20 フロアブルを使用した場合は連用を避ける。     タストロビルリン フルランド・フルター20 フロアブルを使用した場合は連用を避ける。     タ発生時に混用 ※ジーファインとの混用不可 ※ジーファインとの混用不可 ※ジーファインとの混用不可 ※ジーファインとの混用不可 ※ジーファインとの混用不可 ※ジーファインとの混用不可 ※ジーファインとの混用不可 ※ジーファインとの混用不可 ※ジーファインとの混用不可 ※ジーファインとの混用の後) ※フェド シアミド シア・ド・シア・ド・シート シア・ド・シア・ド・シート シア・ド・シア・ド・シア・ド・シア・ド・・・・・・・・	1		ダイナモ顆粒水和剤		2,000 倍	21 日前/3 回	(初発後直ちに)
7月下旬 で表名―20フロアブル ストロビルリン 2,000 倍 14 日/3 回 人では (月下~7 月中旬)の防除時に、呼ダイナモ顆粒水和剤 スルホンアミドシア/アセトアミトシア/アセトアミドシア/アセトアミドシア/アセトアミドシア/アセトアミドシア/アセトアミドシア/アセトアミドシア/アセトフリンシア/アセトアミドシア/アセトアミ・シーシー・シーボール (多年時に湿用 クリックフロアブル ストログローグ (少発生時)       8月下の日本のインスを発生の発生の発生の発生の発生の発生の発生の発生の発生の発生の発生の発生の発生の発	万中町	ハダニ	サンマイトフロアブル	METI	1,000 倍	21 日/2 回	
7月下旬     投摘     又は     『ダイナモ顆粒水和剤』を使用した場合は連用を避け、『アミスター20 フロアブル』を使用する。       8月上~中旬     コロマイト乳剤     マクロライド     1,000 倍     前日/2回     発生時に混用       8月上~中旬     である。     又は     アミスター20 フロアブル     ストロビルリン     2,000 倍     14日/3回     ※基本的にジーファイン水和剤を使用する。       8月中旬     グレーシア乳剤     イソオキサゾリン     2,000 倍     14日/3回     第二時に定規用を避ける。第生時に混用を避ける。第生時に混用を避ける。第生時に混用       8月中旬     交易条件の場合は『アミスター20 フロアブルを使用した場合は連用を避ける。第生時に混用     スリーシア乳剤     イソオキサゾリン     2,000 倍     7日/2回     発生時に混用       8月中旬     変済     スルホンアミドシアノナトアミドシアノアセトアミドシアノアセトアミドシアノアセトアミドシアノアセトアミドシアノアセトアミドシア・ドント・シア・ドント・シア・ドント・シア・ドント・シア・ドント・シア・ドント・シア・ドント・シア・ドント・シア・ドント・シア・ドント・シア・ドント・シア・バート・シテオカー・バメート・シテオカー・バメート・シテオカー・バメート・シテオカー・バメート・シテオカー・バメート・シテオカー・バメート・シテオカー・バメート・シテオカー・バメート・シテオカー・バメート・シテオカー・バメート・シテオカー・バメート・シア・アミスター20フロアブル     ストロビルリン ストロビルリン 2,000 倍     7日前/2回     発生時に混用       9月上~     夜病     ジーファイン水和剤     第2のの倍     7日前/2回     発生時に混用       8月トー     で表の一とのの音     1日前/2回							

☆ 台風前にはジーファイン水和剤、**台風後・長雨時にはアミスター20 フロアブル、ダイナモ顆粒水和剤** (『**使用回数:3 回以内」を順守する**)、カンパネラ水和剤(<u>「マンゼスを含む農薬使用回数:2 回以</u>内」を順守する)を散布する。

- ☆ 展着剤 まくぴか5,000~10,000倍
- ☆ 薬害軽減のため防除前には十分な灌水を行っておく。

## 〇雑草防除体系

薬剤名	使用時期	毒 性	10a 当たり使用 料	使用回数	使用上の注意
トレファノサイド乳剤	植付後(マルチ前)(但し、植付7 日後まで) 全面土壌散布	普	300~400ml (100L)	どちらか	
トレファノサイド粒剤 2.5	植付後(マルチ前)(植付7日後まで) 全面土壌散布	普	4∼6kg	1回	・処理前に発生している雑草 には効果が劣る。 ・土壌が適度に湿っている状態で処理をする。
	植付後萌芽前(雑草発生前) 全面土壌散布	普	200~400ml (70~100L)	1 回	
ゴーゴーサン乳剤	土寄せ後(雑草発生前但し、収 穫 60 日前まで) 全面土壌散布		200~400ml (100L)		
ゴーゴーサン細粒剤 F	植付前(雑草発生前) 全面土壌散布 植付後萌芽前(雑草発生前) 全面土壌散布 土寄せ後(雑草発生前但し、収	普	4~6kg		
	本新せ後(維早先生前担し、収 穫 60 日前まで) 全面土壌散布				
ロロックス	植付直後 全面土壌散布	普	100~200g (70~150L)	1 回	
バスタ液剤	【雑草生育期】 植付前または畦間処理 (収穫30日前まで)	普	300~500ml (100~150L)	合わせて3	<ul><li>・茎葉にかからないよう散布する。</li><li>・枯死には日数を要する。</li></ul>
ザクサ液剤	【雑草生育期】 植付前または畦 間処理 (収穫30日前まで)	普	300~500ml (100~150L)	回以内	
プリグロックスL	【畦間処理】 雑草生育期 (収穫前日まで)	劇	600~1000m I (100~150L)	3 回以内	・茎葉にかからないよう散布する。

※農薬ラベルの表示事項(使用方法、注意事項等)を必ず確認し、使用すること!

※使用については必ずご相談下さい。